

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	運営に関して職員の意見や提案を、カンファレンスや申し送りの際に聞くように心がけているも、時間に余裕がないこともあり、なかなか意見の収集が出来ていない現状がある	事業所の運営に職員の意見が反映できるように、意見の収集の方法を考えて行く (自己評価の項目についても職員全員で取り組めるように考える)	・個人面談の時間を作り定期的に行って行く。 ・アンケートにより意見の収集をする。	6ヶ月
2	11 (7)	利用者の重度化や終末期について、家族や医師と話し合う事はしているも、実際には看取りケアについての取り組みができていないのが現状である。家族のニーズや、当施設の対応できる事を、確認しながら、終末期に向けての取り組みを考える	事業所に看護師がいない事もあり、実際に看取りケアを行うには、体制が整っていない状態であり難しい状態だが、自分たちで出来る事の見極めをし、体制が整った際に対応できるように準備していく	・看取りについての勉強会を行う ・看取りについての研修会などへの参加 ・看取りを実際に行っている施設の職員などから、経験談や実際にどのように行っているか聞く機会を作る	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。